

西目高生、野菜の出前講座

苗植え体験 西目小児童と交流



野菜の苗植え体験で交流を深めた出前講座

由利本荘市の西目高校（関谷洋之校長）農業科学系列の生徒11人が西目小学校（台賀瀬百合賀校長）で野菜の出前講座を開いた。同小の2年生40人と野菜の苗植え体験を通じて交流を深めた。

初めに、生徒がさまざまな野菜の育て方を自作のポスターで説明した。児童は自分の名前が書かれたプランターに土を入れ、キュウリやナス、トマト、オクラの苗を生徒と協力して植えた。

その後、敷地内の畑に移動し、生徒がくわを使って整備した畝に穴を掘り、サツマイ

モやカボチャ、トウモロコシを植えた。ペットボトルでの水やりも楽しんだ。

高橋芽衣花さん（7）は「お兄さんたちが分かりやすく教えてくれてかっこよかった」、齊藤晋さん（17）は「授業でやってきたことを生かすことができてよかった」と話した。

出前講座はこの時期の恒例行事で、今年は5月27日に開催。この日は1年生20人も苗植え体験を楽しんだ。

（加藤広大）

©秋田魁新報社